

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2016年度 学校だより 第6号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。
ローマの信徒への手紙 14章18節

二人の創立者の姿

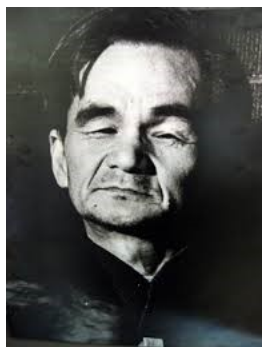
校長 橋 明子

長い夏休みが終わり、子どもたちの明るい笑顔とともに二学期が始まりました。夏休みの間、子どもたちはたくさん遊び、学んだことでしょう。また、家族や友だちとの交流、そして様々な出会いがあったことでしょう。私たち教員も子どもたちと同じように、たくさん遊び、学び、交流や出会いを経験しました。心に刻んだ夏休みの思い出は、二学期の学校生活に生かされてくるのではないかと思います。忙しい日々になりますが、慌てることなく、焦ることなくしっかりと大地を踏みしめて過ごしていきましょう。

平和学園は、二人の創立者（村島帰之・賀川豊彦）によって、建てられたキリスト教主義の学校です。お二人の創立者が「平和への願い」「学校教育のこと」など、たくさん思いを抱えて建てられた学園です。歴史を受け継ぐ一人ひとりが誇りを持ちキリスト教の教えに基づいて、心にしっかりと根を張り二学期を過ごしていきたいと思えます。

歴史を受け継ぐためには、平和学園の歴史を知ること、創立者の思い、生き方から学ぶことが大切なのではないでしょうか。

この夏休み、村島先生との思い出を卒業生の方から聞く機会が与えられました。その方は、大好きな村島先生が病気のため自宅で療養なさっている時のお話をしてくださいました。家の庭に咲く季節ごとの花をもって先生を訪ねると、辛い状況であるにもかかわらず、笑顔で迎えてくださったそうです。



嬉しくてまた先生宅に伺うと眠っていらっしやる時があり、そっと玄関先に置いてきたそうです。しかし会わずに帰るような時は、必ずお礼のお葉書をくださったようです。どのような時にでもひとりを大切にしてくださいる姿は、今も変わらない教師の姿だと感じます。



また、賀川先生の小さな子どもたちへの教育に力を注いでいらっしやったことを今更ながら学ぶ機会が与えられました。イエスさまが小さな子どもを大切になさったように、先生はご自分のできる力を最大限に使い（小説を書くなど）子どもたちが生きるのにふさわしい環境をたくさん作られました。

その一つ、長野県に建てられた保育施設の園長先生から、先日お手紙をいただきました。その教会付属の保育施設は190名の子どもたちが過ごしています。そこには子ども一人ひとりと向き合い、神さまと共に歩むという、賀川先生が大切になさっていた姿が受け継がれており、力強さを感じました。

70周年と言う節目に、創立者を知っている方々、創立者の思いが日本のたくさんの地域にちりばめられている現状を知ることが出来たことに感謝です。

今学期も保護者の皆様には学校を理解し、協力していただくことがたくさんありますが、よろしく願いいたします。